

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会
第5回警備・消防専門委員会 議事録(概要)

1 日時

令和6年(2024年)2月8日(木)13:30~14:30

2 場所

滋賀県大津合同庁舎7階7A会議室

3 出席委員(五十音順、敬称略)

上原 正彦、北村 勘吉(長谷川貴也委員の代理)、田村 隆明、辻 保徳、筒居 昭博、西島 義典、山川 真也、山本 嘉文(原田英明委員の代理) (委員:8名出席)
(事務局:辻事務局長ほか事務局職員6名)

4 配付資料

別添のとおり

5 会議概要

○ 報告事項

※ 事務局から、「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会における警備・消防防災業務の概要」を説明。

【質疑】

(委員)

かごしま国体・大会を視察して、何か警備面での課題があれば教えていただきたい。

(事務局)

警備面で特に大きなトラブルはなく、円滑な大会運営が図られていたように見受けられたが、課題としては、皇室御臨席時に実施するクリア規制をいかにスムーズに行えるかということが挙げられる。参加者の滞留や一時的な入場規制も想定されるので、現場配置する警察との入念な事前調整と、必要な箇所に必要な職員を配置する必要があるということを改めて感じた。

○ 審議事項

※ 事務局から、
(1) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ開・閉会式等自主警備業務実施計画(案)
(2) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ開・閉会式等消防防災業務実施計画(案)
(3) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ開・閉会式等大規模災害・突発重大事案対策業務実施計画(案)
(4) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ開・閉会式会場管理運営要綱(案)
について説明。
事務局で修正意見を踏まえた文言を整理し、最終的な文言調整は委員長一任とする旨が承認された。

【質疑】

(委員)

(1) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ開・閉会式等自主警備業務実施計画(案)の第6条(平常時における活動)の(6)会場入退場者管理に関して、AD管理エリアへの再入場者に対する措置が示されていない。ADカードとリストバンドの確認のみでは付け替え等による不正入場も考えられるので、再入場者に対しても、データベース照合までは要しないまでも、ADカードとリストバンドの確認だけではなく身分証明書も確認すべき。御一考願う。

(事務局)

御意見を踏まえ、規定の内容を検討させていただく。

(委員)

審議事項については、次回の常任委員会への報告事項となっているので、改めて事務局において文言の整理を行い、最終的な文言調整は委員長である私に一任していただきたい。

異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

○ 全体を通して(意見交換)

(委員)

大会当日に災害等が発生した場合の避難誘導が非常に重要となってくる。避難先は今後検討していくと思うが、しっかりとした周知と事前訓練が大事であり、有事を想定した訓練を行う必要がある。訓練は、当日参加する者が行わなければ意味がない。行き届いた対応策を練ってほしい。避難先だけでなく避難経路の安全性も考えるべき。また一緒に考えていきたい。

(事務局)

開会式等の開催中に災害等が発生すれば、大パニックとなることも想定される。警察・消防とも相談しながら、どのような対応をしていこうかとしっかりと検討してまいりたい。また、県職員等に対する研修も実施していくので、その際はアドバイスをお願いしたい。

(委員)

有事に備えることが大事である。消防としても火災への対応や救助方法等についてしっかりと考え、対応していかなければならないと考えている。自主警備に当たる県職員も色々なケースを想定しておくべき。障害を持った方もおられるので、避難経路はケース、場所それぞれによって考えていかなければならない。警察・消防と協議しながら進めていく必要があると考えるが、会場を管轄する彦根市消防本部の意見はどうか。

(委員)

有事の際は、彦根市消防本部だけでは対応しきれないこともあるので、滋賀県消防長会の力を借りながら対応していきたいと考えている。現場判断する上での懸念としては、多数の参加者が集まる中で災害が発生した際に、いかに参加者を、避難エリアを分けて安全に避難させるかである。今後も県、警察と十分な連携を図っていきたい。

(事務局)

彦根総合スポーツ公園はコンパクトな施設であるので、避難場所が広大にあるわけではない。どこに、どのように避難するか、しっかりと整理していかなければならないと考えている。

以上